

1. 授業の概要(ねらい)

まず、経済法の中核である競争法(独占禁止法)の内容の一部(合併規制等)を説明します。また、最近の重要問題(GAFA等の支配的プラットフォーム・ビッグデータの問題等)に対する競争法の取組みを説明します。これらを通じて競争法の基本思想・概要を理解してください。

次に、市場の失敗・格差拡大等に対処するための経済規制等を説明します。また、関連して経済規制等の問題点・政府の失敗についても説明します。

最後に、我が国経済が国際経済の中にあることを踏まえて、国際経済法の概要を簡単に紹介します。

2. 授業の到達目標

講義は、経済的な諸問題(経済規制の要否/その適正さ)について、「法律学の各分野における基本的な知識を応用し、法律の専門的立場から、新しい法現象について、その問題点を的確に把握し、問題解決のための提言を行うことができる」ようになることを目標とします。

特に、受講生において、我が国の経済システムを支える経済ルールの在り方について、新聞等の報道内容を理解して議論できるようになること(「新聞で報道されている規制の見直しは、〇〇との目的を有している。しかし、●●との弊害が生じるおそれがある。これらを考慮して、私は、この見直しに賛成/反対である」との議論)を最終的な目標とします。

3. 成績評価の方法および基準

基本的に試験結果(80%)、レポート提出・発表等(20%)に基づき評価します。

4. 教科書・参考文献

教科書

なし

参考文献

泉水文雄『経済法入門』 有斐閣

5. 準備学修の内容

各講義のレジメを事前配布・LMS掲載するので、当該レジメを事前に読み、問題を検討してください。

レジメに記載された課題についてはレポート作成・提出した上、適宜指名を受けた学生が発表することとします。

なお、経済活動に係る新聞記事等を読むように努めてください。

6. その他履修上の注意事項

自分が政策担当者・ビジネス法務担当者になったつもりで、「どのような経済システム・経済ルールが望ましいか」などの問題意識を持ってください。

なお、授業中の私語は、厳禁です。

7. 授業内容

- 【第1回】 概要説明(問題意識・今後の授業の進め方)
- 【第2回】 (春期の復習)市場経済システム(競争)のメリットは?
競争を維持するルールとしての独占禁止法の必要性・その内容は?
- 【第3回】 新聞に「A社とB社の合併に関する独禁法の問題」と書いてあった。
独占禁止法は、合併等を何故・どのように規制しているだろうか?
最近の合併等規制事例を検討しよう。
- 【第4回】 前回の続き・・・
最近の合併等規制に関する事例を検討して理解を深めよう。
- 【第5回】 競争法に関する最近の話題性ある事例を考えよう
(GAFAのような支配的プラットフォームの問題性とその対処等)
- 【第6回】 市場経済システムは、常に望ましいものだろうか?
何故、政府は、市場経済システムでの企業活動に対する規制をするのだろうか?
市場の失敗と経済規制の必要性を考えよう。
- 【第7回】 市場の失敗と経済規制の必要性を考えよう(続)
- 【第8回】 所得格差是正のための経済規制の必要性を考えよう。
政府だって失敗する(政府の失敗を考えよう)。
- 【第9回】 経済規制の法的問題を考えよう。
憲法(「営業の自由」)との関係に係る事例を検討しよう。
- 【第10回】 経済規制の行政運用の法的問題を考えよう。
(経済に関する違法な行政運用から、問題の所在を理解する)
- 【第11回】 経済規制に関する最近の動きをみよう
(どのような規制・その見直しがどのような理由から実施されたのか)
- 【第12回】 国際経済ルールの基本を学ぶ(1):無差別原則・数量制限措置禁止とは?
- 【第13回】 国際経済ルールの基本を学ぶ(2):補助金規制等
- 【第14回】 国際経済ルールの基本を学ぶ(3):セーフガード措置・アンチダンピング措置等
- 【第15回】 まとめと試験